

# 内閣府組織概要図



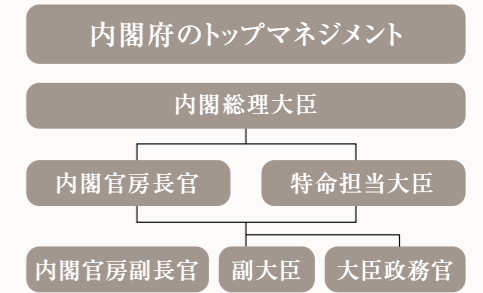
## 6つの重要政策課題

1. 国家運営の基本に関わる経済財政政策
2. 暮らしと社会(男女共同参画社会・共生社会等)
3. 国民生活の安全・安心の確保(防災対策等)
4. 沖縄に関する取組
5. 科学技術政策・イノベーションの遂行
6. 内閣総理大臣が直轄する行政事務の遂行(政府広報・栄典等)

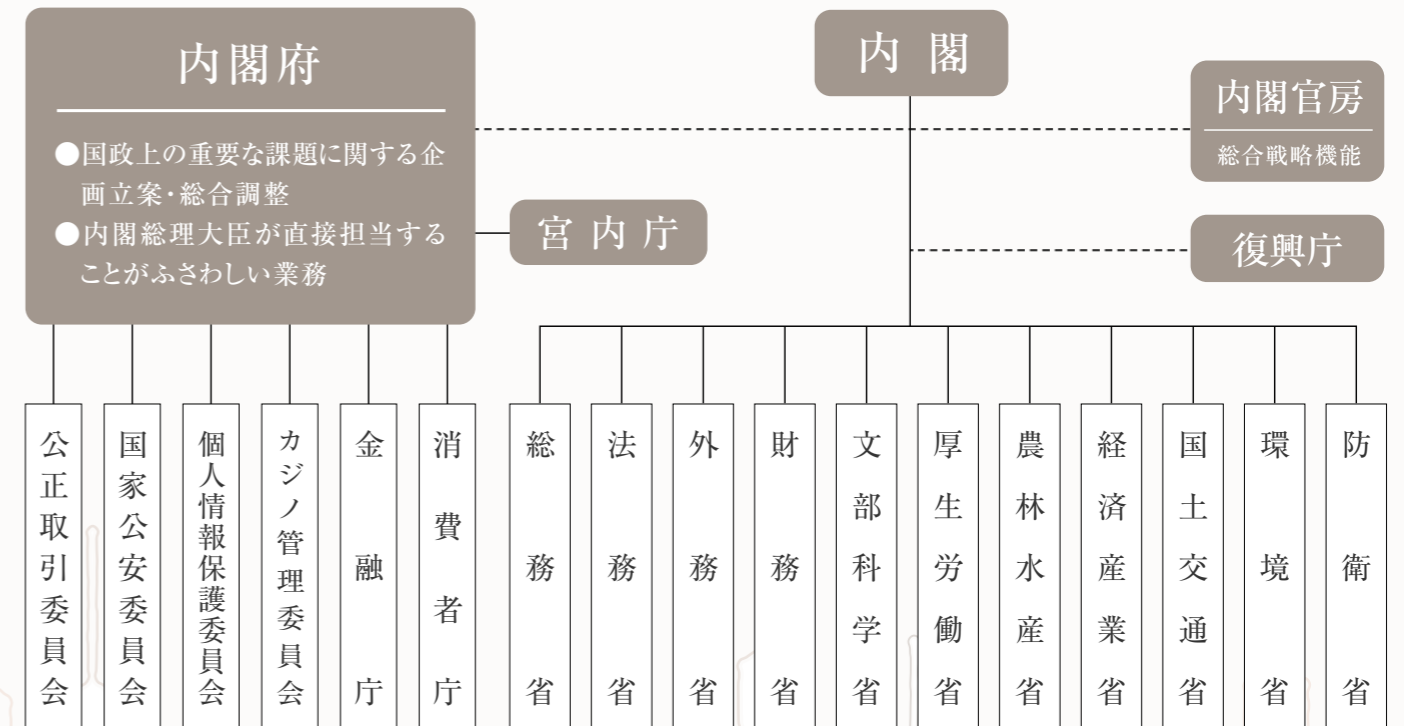
# 内閣府の位置づけと任務

内閣府は、内閣及び内閣総理大臣の主導による国政運営を実現するため、内閣総理大臣の補佐・支援体制の強化を目指して平成13年(2001年)に設置された内閣総理大臣を長とする内閣の機関です。

行政事務を分担管理している各省より一段高い立場から、国政上の重要な政策について企画立案・総合調整等を行っています。



# 中央省庁概要図



## 内閣府のロールモデル

- **官邸直結の政策マネジャー・プロジェクトマネジャー**  
総理のリーダーシップを支える中心的な存在として、官邸や特命担当大臣に直結し、国政上重要な政策の企画立案・総合調整を行う。
- **組織基盤を支えるエキスパート**  
内閣府のみならず、官邸・内閣官房を含め、国会業務や総務・会計部門等のエキスパートとして、行政運営の基盤を支える。
- **国民目線に立った政府のセンタープレーヤー**  
社会の在り方、国民生活に密接に関わる分野において、国民目線に立って政府部内を強力に調整し、政策を推進する。
- **政策・制度に立脚し、現場との接点を持つ政策分析専門家**  
経済財政、科学技術分野等、政策・制度の企画立案に貢献する人文・社会・自然科学的知見を実証に基づき提供する。
- **総理直轄分野の政策プロフェッショナル**  
栄典行政、公式制度、公文書管理など国家の基盤に関わることや、沖縄政策・北方対策など特別の理由に基づき総理が担当することがふさわしい分野におけるプロフェッショナルとして政策を推進する。